

図書館の本棚から

☆☆☆職場体験編☆☆☆

2019.6 亀山市立図書館



オススメ本のタイトル
 きよしこ 重松 清
 この本の主人公「きよし」は、しゃべろうとすると言葉がフ.かえてしまったり、言葉の頭の音が止まらなくなってしまう。「吃音」をかかえています。そんなきよしがか「吃音」を持ちながらも成長していくお話です。
 きよしはお父さんの仕事の影響でよく転校をします。その転校した学校では「笑われたり気味悪がられたりしますが、そんな学校の中でも出会った友達や先生達と関わっていく内に吃音との付き合い方やきよしの吃音への思いも少しずつですが変わっていきます。どもってしまうきよしに「がんばってほしい」と読み進めていけばいくほど「きよしならきっと大丈夫」と思い、気付かない内に吃音を知らなかった自分もきよしの立場で物語を読んでいました。
 吃音の人もそうでない人も、この本を読んだ後には優しい気持ちになれると思います。(K・S)

オススメ本のタイトル
 名探偵コナン
 エピソード「ONE」 小さくなった名探偵 水橋は
 江戸川コナンの本当の姿は、高校生探偵・工藤新一だということ、みなさんご存知かと思いますが、新一がコナンになるまでに何があつたのか、知っていますか？
 少し、あらすじを紹介します。おさななじみの蘭と遊園地に来た新一。2人はジェットコースターに乗るのですが、そのジェットコースター殺人事件が起きます。新一は犯人をすばり言い当て、事件は解決しましたが、そのジェットコースターに乗っていた黒ずくめの怪しい男が気になった新一は、蘭に「先に帰っててくれ」と伝え、尾行します。そして男たちは怪しげな取り引きを始め、新一はそれを見ていたのですが、後ろから近づいてきたもう1人の黒ずくめの男に見つかり、後頭部を殴られ、そしてカプセルを飲まされて……。
 あの日、あの時、登場人物にいたい何があつたのか、この本ですべて明かされます。誰が読んでも楽しめると思います。
 新一(コナン)と蘭の、少しもんとする場面も見どころです。続きが気になって、どんどん読めるのでオススメです。(T・Y)

オススメ本のタイトル
 「子ども食堂 かみふうせん」 齊藤 飛鳥
 このお話は、しっかり者で心優しい、麻耶。顔も頭も運動神経も良い、人気者の蘭志、なにごとくも地味で目立たない女の子、悠乃、時代劇と家族をこよなく愛す一平の个性的で孤独な4人の小学生が子ども食堂 かみふうせんで出会い、それぞれのなやみや自分の中の怒りなどの感情を解決し、変化していく物語です。人間誰れもが持つ感情やなやみをこの食堂に来る人たちは抱えています。だから、とても共感するところがたくさんあると思うし、自分自身も変われるお話です。
 そして、食堂や仲間を通して解決した登場人物の思いがそのまま文字で書かれているのではなく、空の色などで表現されているところがすてきなように思いました。みなさんもぜひ読んでみてください。(B・R)

職場体験で亀中・中部中の生徒が選びました。